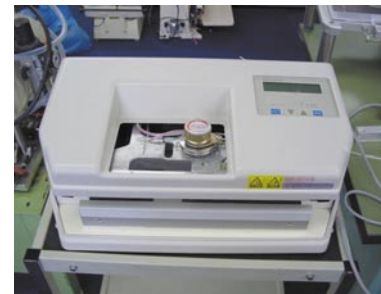


発想支援“人工生命型自動設計システム”の開発

企業 / 株式会社 ソフトウェアエンジニアリング

研究者 / 芹川 聖一（九州工業大学 工学部 電気工学科 助教授）



試作シール機

モデル化の目標として、『物を加工する探索』と『動作を校正する探索』という2つのテーマに対し、“人工生命型自動設計システム”を応用したソフトとして、以下の開発を行った。

「物を加工する探索」においては、レンズの自動設計アプリケーションを移植開発した探索結果をもとにレンズの試作を行い、またフィラメント形状を探索するアプリケーションを移植開発し、それぞれ有効性の検証を行った。

「動作を校正する探索」については、圧力センサ補正関数探索ソフトを移植開発し、その探索結果をもとにしてシール機の試作を行った。

レンズ形状の自動設計やフィラメントの形状を設計するために必要な入力情報が得られるように検証装置を試作し、高い精度のデータの収集を行った。